



引っ越します！

校長 眞瀬 敦子

本日、「谷原っ子 力を合わせて演じよう」のスローガンの下、全校を挙げて取り組んできた学芸会が開催されました。ご覧になった感想は如何でしたでしょうか？この谷原小便りが届く頃には、各ご家庭でお子さんとの会話が弾んでいることと思います。

学芸会の報告は次号に譲るとして、体育館の外からもよく見えていた新校舎が、検査を終えて、30日に無事練馬区に引き渡されました。私達の出入りも解禁となり、いよいよ引っ越しです。

目の前の建物に移るとはいえ、授業をしながら私達が手で運べる量は限られていますので、23、24日の両日で業者による引っ越しが行われ、26、27日で全教職員が荷解きをし、冬休み中をかけて、1月8日からの授業に備えます。と言っても膨大な量のある学校の引っ越しです。まず、業者に運んでもらうためには全ての荷物を仕分けして梱包し、どこからどこへ運ぶのか明示しておかなくてはなりません。夏休みから計画的に、沢山ある倉庫や資料室の中を点検整理してきましたが、授業がある中でやれることは限られています。そこで本校では、授業時数を確保しつつ、専科の授業を動かしたり、最後の三日間を午前授業にしたりして、業者に運んでもらうための荷物の梱包や手運びができるように、今年のうちから年間計画を立てて対応してきました。

手運びの頼りは、この夏頃から共にぐんと成長して、考えた行動ができるようになった6年生とパワフルな5年生です。よろしくお願いいたしますね！

「話し合おう 家族みんなで ぼうさい会議」 4年 立石 光希

「きめてるよ 家族みんなが 会える場所」 谷原小保護者 豊田 のぶ

この二つは、今年度の青少年育成委員会が募集した環境標語で、本校から優秀作品に選ばれたものです。先日全校朝会で表彰しましたが、受賞なさった豊田さん（4年の泰平君のお母様）に一言感想をとお願ひしたところ、とても素敵なお手紙をくださいましたので、紹介いたします。

「(前略)今回受賞した方々の作品を見せていただきましたが、家族や地域の絆を感じる力作揃いで『何故私の作品が？』と驚くばかりですが、子どもの頃から表彰などには縁がなかったので、とても嬉しく思います。 今回のテーマを見た時、真っ先に昨年3月11日の震災のことが頭に浮かびました。当日私は職場の保育園にいて、園児の安全確保に必死でしたが、同時に家族の安否も心配でした。 業務の合間をみて携帯で連絡をしましたが、なかなか繋がらず、全員が無事家にいることが判ったのは3時間位経った頃でした。この日はたまたま運良く家族が皆家の近くにおりましたが、普段は外出していることが多く、もしこれが別の日に起きていたら…、直下型地震だったら…と考えると、家族が無事会えるのかとても心配です。 この地震の後、家族で避難場所を確認したはずでしたが、今回の受賞を聞いた娘に『うちは避難場所ってどこだっけ？』と言われてしまいました。“いざ”という時の話は一時だけでなく、定期的に話し合っ確認しておかなければいけないことを改めて実感しました。 また今回のことで、何歳になってもチャレンジしてみるということは悪くないなあと思い、何か新しいことを始めてみようかと考えるきっかけにもなりました。(後略)」

素敵な家族の様子が目に浮かぶようです。師走に向け、各ご家庭でももう一度、避難場所や持ち出す物などについて、話し合いをしておいてください。

当日の劇のあらすじは、以下のようなものでした。

宇宙に輝くたくさんの星々の中でも、ひときわ美しい星「おさな星」に、氷魔王ヒョウヒョウがやってきて、星を全部凍らせてしまおうと荒れ狂っていました。太陽の子カガヤキも氷に閉じ込められてしまったので、春がきても、すぐに冬になってしまいます。

「うたたね」とよばれる少年の住む町にもヒョウヒョウの魔の手が迫ってきました。夢ばかり見ているうたたねが、大人達が倒すことができなかつたヒョウヒョウの心を溶かし、おさな星を救う、というものです。

終了後に劇団の方たちへ手紙を書いたところ、児童から次のような感想が寄せられました。「人には一人一人目には見えない良さがあり、その力を発揮できる 때가、いつかやってくる。」、「これからは、互いに友達のよさを見つけていこう。」、劇を見ることで、このような気持ちをもてたことは素晴らしいことです。

また、翌日の学芸会練習では、声の出し方や表情、身振りなど、劇団の方たちの表現を参考に、より豊かに表現できるよう各自が工夫をしていました。今日の学芸会では、子供達の生き生きとした演技をご覧いただけたでしょうか。

給食部からお知らせ

給食部 藤原絵美

新校舎になって給食室が広がったことから、食器をのせる個人用トレイが各自に1枚ずつ1月8日の給食から新たに導入されます（現在は、学級当たり6枚程度のトレイしかないので、給食係が配膳に使っています）。

これを契機に、より衛生的で安全な給食を目指して、今後も取り組んでいきたいと思えます。なお、ランチョンマットは、新トレイの底と机との接触を防ぐため（底に鉛筆の粉などがつくとき洗っても落ちにくくなる）、これまで通り、持参ください。

なわとび旬間について

体育主任 渡壁正行

今年のなわとび旬間は、12月最後の2週間となります。寒い時期だからこそ、休み時間や授業等を活用して心と体を鍛えていきたいと考えています。

今年は校舎全面改築工事によって校庭が狭くなったため、運動不足が懸念されていました。そこで、昨年度に引き続き4月からエアロビクスを行ったり、なわとび旬間だけではなく、年間を通して積極的になわとびを活用したりしてきました。

夏休み前には全校児童になわとびカードを配布したり、各学年の記録を掲示したりして取り組んできました。今旬間では、各学年で運動場所を工夫して積極的に行っていきます。

これを機会に、ご家庭でもお子様の成長や努力を励まし共になわとびを通した体力づくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。

1 2月の行事予定

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 1日(土) 学芸会保護者鑑賞日 | 18日(火) 安全点検 5年生社会科見学
午前授業(光和小学校発表) |
| 3日(月) 振り替え休業日 | |
| 4日(火) 個人面談① 午前授業 | 19日(水) 引越しのため |
| 5日(水) 特別時程下校12:40
美化日 | 1~4年生午前授業 |
| 6日(木) 個人面談② 午前授業
安全指導 | 21日(金) 5・6年生5時間授業 |
| 7日(金) 個人面談③ 午前授業
健康の日 | 21日(金) 給食終了 |
| 8日(土) 4時間授業 避難訓練 | 22日(土) 2学期前期終了 午前授業
大掃除4校時 |
| 10日(月) 委員会 なわとび旬間始 | - 1月 - |
| 11日(火) 個人面談④ 午前授業
給食終 | 8日(火) 2学期後期始 給食始
計測2年 健康の日 |
| 13日(木) 個人面談⑤ 午前授業 | 9日(水) 避難訓練 計測4年
安全指導 席書会5・6年 |
| 15日(土) 落成式※(5年生出席) | 10日(木) 美化日 席書会3・4年
計測3年 |
| 17日(月) クラブ活動 | 11日(金) 計測1年 |
- ※ 個人面談の実施日、時間は各学級によって多少異なります。
※ 12月の最終登校日は22日、1月の最初の登校日は8日です。

校内研究について

研究推進委員会

第5回研究授業は、5年2組大倉学級の「グラフを引用して意見文を書こう」でした。子供たちが、「今と昔の体力テスト」のグラフから読み取れる事実を文章に書き表しました。グラフや資料から読み取ったことを根拠として事実を述べ、自分の意見を持ち、それを表現していく力は、今の子供たちに求められている力です。子供たち全員が、例文を参考にして、適した文末表現を使ったり文章構成を考えたりしながら文章に書き表すことができました。

次回研究授業

1月23日(水) 5校時(13:20~14:05)

1年3組 清水学級

思い出して書こう「いいこといっぱい、一年生」

お子さんが1年生でない方も、ふるってご参観ください。

1年生

今日の舞台は、いかがだったでしょうか。一つの劇に95人が登場することは、劇団「四季」でもそうあるものではないのに、子供達は長い練習にも耐えて立派にやり遂げてくれました。

この劇の練習を通して、子供達が学んだことはたくさんありました。当初は、ほとんどが棒読みで声も小さかったのですが、上手な友達の言い回しに気づき、それを真似るようにして上手になっていきました。また、1年生なりに連帯感が育ってきたことも収穫でした。それは、休み時間にクラスの枠をこえて仲良く一緒に遊ぶようになったことから分かりました。声を大きく出す練習は、日頃のあいさつや返事、発表の声をも変え、日を追うごとに声が堂々と大きくなってきました。

これらの貴重な体験を、さらに今後の学習や日常生活に活かせるようにしたいと思います。

2年生

「演じることを楽しもう!」を合言葉に、2年生は初めての学芸会を心から楽しみました。自分の役が決まってからも「カメはこんなふうには歩けばいいよね。」「オオカミ軍団の踊りはこんなポーズがいいよ。」とみんなでアイデアを出し合いました。セリフを言わない時も考えて動いたり、舞台上上がっていない時も歌や拍手で盛り上げたり、本当に73人が力を合わせて作り上げた劇でした。子供たちの「演じるって楽しい!」という思いを感じていただけたでしょうか。来週には、先月収穫したさつまいもで芋けんぴを作って「学芸会ががんばったパーティ」兼「九九全員マスター祝いパーティ」を計画中です。

3年生

学芸会の鑑賞、ありがとうございました。「女の子がいっぱい 男の子がいっぱい」いかがでしたか。見てくださる全員の人に届く声でセリフを言う、自分のセリフだけでなく、舞台上上がっている間はずっと演じ続ける、などに気をつけながら一生懸命練習してきました。劇のように、男の子、女の子、言い合いをすることもあるけれど? 残り4か月、仲良く助け合える3年生で過ごせるようにしたいと思います。

12月は、畑で育てている練馬大根の収穫・大根干し・漬け込みをします。収穫・大根干しは12月8日(第2土曜日)に行います。(雨天の場合は10日)お手伝いいただける方、どうぞよろしく願いいたします。

4年生

役を「演じる」とは、物語の登場人物に「なりきって」その登場人物を表現すること。そして、それは本当の自分ではない姿を舞台上で表現するというでもあります。台詞や動きで気持ちを表現する。難しいことではありましたが、子供達は多くの指導を活かし、助け合い、協力しながら練習していました。

また、劇は舞台上がる人だけでは行うことはできません。音を出す人、照明をあてる人、道具を出す人などの様々な人がいて、やっと一つの劇が完成します。今回の『エルコスの239時間』は、音・照明・道具の全てを子供達が行いました。

みんなで助け合い、協力して一つのものを作り上げる。このことを今後の学習や生活に活かしてほしいと思います。

5年生

学芸会。みんなで協力して作り上げた舞台。子どもたちは、表現することの楽しさ、気持ち良さを感じたようです。『ぞう列車よ走れ』を演じるにあたり、5年生は戦争のあった時代の学習をしました。67年前が単に歴史年表の中の出来事になってしまうことなく、責任ある大人に成長して未来を築いていくことを願っています。

12月は、4日(火)に音楽鑑賞教室に行き、15日(土)には学校の児童代表として新校舎の落成式に参列し、テープカットをします。19日(火)からは、新校舎への引っ越しの手伝いもします。高学年として谷原小学校の顔として、ますます力をつけていって欲しいと思います。

6年生

宮沢賢治が伝えたいことは何なのか。国語のやまなしとイーハトーブの夢を学習し、関連図書を学ぶことによって宮沢賢治の思いにできるだけ迫ろうとしました。

グスコブドリの伝記を演じるに当たり、6年生に大事にしてほしかったのは、自分たちで一つの劇を完成させることでした。ただ台本を演じるのではない。言われたことを演じるのではない。友達と考え、協力しながら練習することに重点を置きました。セリフや小道具、衣装など、子供たちが主体になって用意したものです。担任一同、練習時は厳しく指導する場面もありましたが、児童はその都度自ら考えて練習し、よりよい演技にしようと励みました。本番では、どの子も精一杯もてる力を発揮しました。学芸会で学んだことを今後活かせるようにします。いよいよ来月は新校舎への引っ越しがあります。6年生の力を使って無事にスタートできるようにしたいと思います。

「愛情をかけることとは手をかけること」 家庭科 栗原 綾

秋は5年生「ミシンを使おう」、6年生「ミシンでエプロンを作ろう」を学習しました。6年生の多くは2回めのミシンの学習で慣れた様子で二人1台のミシンで教え合ったりしながら楽しそうに作業に取り組みました。エプロンにつけるポケットのデザインは、名前の縫いとりとともに、自分らしさを出そうとボタン、ビーズ、フェルト等を使いすてきな作品に仕上げました。また5年生は上糸のかけ方から始め、最後にぞうきをきれいに縫いました。まとめのプリントで「ミシンの良い点は何ですか」と聞いたら「早い」、「縫い目がそろっている」、「丈夫である」、等ができました。でも「ミシンは速いけど手縫いの方が愛情がこもるかな・・・」となんとやさしい文があって嬉しくなりました。